



# 学校だより

令和元年5月24日

横浜市立高田中学校

5月号(第31-02号) 校長:横田 由美子 TEL:591-4183

## 3校合同学校運営協議会の開催

5月10日(金)に、今年度第1回目の学校運営協議会が高田中学校で開催されました。高田中学校・高田小学校・高田東小学校は、一昨年度、9年間一貫した特色ある教育活動の実現をめざす併設型小・中学校として位置づけられ、その取り組みの一貫として学校運営協議会を3校合同で立ち上げました。

学校運営協議会制度は学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。



今回の学校運営協議会では教育委員会から皆様への委嘱状の交付の後、3校の校長より「中期学校経営方針」の説明と今年度の指導の重点や具体的な取り組みの説明と提案、また併設型小・中学校としての取組とそのスケジュールの説明とを行い、承認されました。その後の意見交換では、より良い連携の実現に向けて、学校・地域・保護者それぞれの立場から、「これまで学校で行っている地域防災訓練を充実させるためには」「児童生徒・保護者・地域の方々がともに参加できる行事」などについて活発な協議が行われました。

次回は7月12日(金)に高田小学校で開催予定です。3校合同で「地域とともにある学校づくり」を引き続き推進して参ります。

[本年度の学校運営協議会委員]

- ① 地域の代表 (連合町内会長、連合町内会副会長、主任児童委員、スポーツ推進委員、青少年指導員、民生委員)
- ② 保護者の代表 (3校のPTA会長)
- ③ 学識経験者
- ④ 3校の校長 (敬称略)

## 『地域活動ホームしもだ』バザーに行ってきました

5月19日(日)に『地域活動ホームしもだ』でバザーが行われ、本校1～2年の有志の生徒5人と河野副校長が伺いました。5人の生徒は射的、ジュース販売に分かれ、同じくこのボランティアに来ていた日吉台西中の生徒と共に活動しました。射的では先に到着していた西中の生徒がやり方を教えてくれ、さらにやりやすい役割を振ってくれました。以前からの知り合いのように協力して活動しました。ジュース販売をした生徒は慣れるにつれ呼びかけの声が大きくなっていきました。小さい子が嬉しそうにジュースを手にする姿を見て笑みがこぼれる生徒の姿にこちらまでほっこりしました。生徒の感想です。



「最初は全然人が来ませんでしたが『冷たい飲み物ありますよ』とみんなと協力して言っていくうちにだんだんとお客さんが来ました。最後には完売できうれしかったです。また来年も参加したいです。」

「水が売れ残り地域の方や高田中のみんなと売り歩き、売れた時の喜びは今もこの先も忘れられません。」

この体験は私にとって必要なものだったと思います。他校の生徒や地域の方々と関われとてもうれしかったです。」

「売ることを体験したくて参加しました。やってみると楽しいだけでなく、売り場の近くに来た方が離れていくと何とも言えない悔しさを感じ、また一度に多くのお客さんに対応する大変さもありました。しかし同じ売り場の人、さらには下田バザーに参加している人全員と協力できたことに達成感があり参加してよかったと心から思いました。またこういった機会に参加したいと思います。」

「他校の生徒と打ち解け仲良く一緒に活動できたりお客さんに笑顔で接することができたことがよかったです。これからも積極的に参加したいです。」

「学んだことの一つ目は人との関わりについてです。いろいろな方から『ありがとう』と言われるとうれしかったです。二つ目は協力についてです。初めて会った方とも協力しあうことが楽しいと知りました。」これからも人と協力して活動すること、人の役に立つことの楽しさを共に感じていきたいと思います。

# 中期学校経営方針

中期学校経営方針とは、「学校の特色を基に、学校教育目標の達成に向けた3年間の学校経営中期取組目標と具体的取組等を明示したもの」です。取組目標が3年後に期待する姿です。その目標を達成するために、毎年具体的取組について評価し、次年度の具体的取組を決定していきます。

横浜市立 高田中学校										令和元年度版 中期学校経営方針 (令和元～3年度)									
学校教育目標	学ぶことを通して、自ら課題を形成し、その課題を自ら解決し21世紀を生き抜く力をもった人を育てる。(ストリートスマート、地域リーダーの育成) 子どもたちの自己実現を支援するために次の力をはぐくみます。 * 自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力(知) * 生命を尊重し、心身の健康を維持向上していく力(徳・体) * ともに認め合い社会参画に努め、自他および社会を高めていく力(公・開)																		
	学校概要	創立	32	周年	学校長	横田由美子	副校長	河野正美	3	学期制	一般学級	9	個別支援学級	2					
教育課程全体で育成を目指す資質・能力					高田中ブロック					小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組									
協働的に次代の社会をつくる力 自己肯定感・自己有用感 言語能力 情報活用能力					高田中学校 高田小学校 高田東小学校					○自らすすんで学び続ける子 ○仲間と協力してよりよい社会の実現を目指す子 ・校長ラジミーディング・12人会議・90人会議を通して、小中一貫教育の更なる推進。 ・「豊かな表現力の育成」をブロック研究テーマとした授業づくりの推進。 ・高田中ブロック「資質・能力ベース カリキュラム」の作成									
中期取組目標	○明るく・楽しく・前向き(あ・た・ま)をモットーに、それぞれに笑顔と居場所がある明るくあたたかい学校づくりを「チームたかた」で目指します。 ○教職員が生き生きと学び認め助け合い、生徒理解力と生徒に寄り添った指導力の向上に努める学校を目指します。 ○生徒が自らの将来の夢や目標の実現に向かい、異なる価値観や考え方や行動を認め、大切にしたい、自ら考え誤解なく伝えようとする態度の醸成を目指す。 ○学校・家庭・地域・社会による連携・協働により、「地域・社会と共に歩む開かれた学校」づくりを一層すすめます。 ○生徒それぞれの学力の定着・向上と主体的・対話的で深い学びを促進できる授業の実践を目指します。																		
重点取組分野					具体的取組														
生きてはたらく知					①全国・市学状や生徒向け授業アンケートの集計結果と経年変化の分析をもとに、授業改善と、「わかる」「主体的・対話的・深い学びができる」授業につながる工夫とを行う。②小中一貫教育推進ブロックにおける合同授業研修会を活用し、3校で研究を推進する。														
豊かな心					①自他を尊重し、よりよい社会の実現にむけて実践できる生徒の育成を目指し、道徳授業の研究を推進する。②教職員の指導力向上を目指し、様々な人権問題について考え・議論する研修を実施する。③行事や日々の活動を通して人権意識、自己肯定感と自己有用感、コミュニケーション力を育む。														
健やかな体					①健康教育や学校保健委員会、食育などを通して、生徒が心身の成長や健康について関心をもち、自ら健康で安全な生活を送れるように支援を行う。②保健体育や部活動を通じて、生徒が体力や運動習慣について理解を深め、自ら体力向上や運動習慣の改善を目指すように助言をする。														
生徒指導					①一人ひとりの心情に寄り添った生徒指導の充実を図るため、生徒指導部による職員研修を実施し、全職員の生徒への積極的な関わりと生徒理解に努める②特活指導部などと連携し、学校の教育活動全体を通じて、豊かな人間関係づくりや社会の一員としての意識の醸成のための支援をする。														
特別支援教育					①保護者と連携し、特別な支援を必要とする生徒に、「個別の教育支援計画」を作成し、「指導計画」にもとづいた支援を行う。②発達特性やその効果的なかかわりについて研修会を実施、教職員の理解と実践力を高める。														
地域連携・学校運営協議会					①経年変化や小中一貫ブロックでの考察ができるよう学校評価アンケートを精査する。②学習支援ボランティアなど、地域・社会の教育力を活用して、教育活動の充実を図る。③地域交流を無理なく計画的に実施できるよう工夫し、活動を地域の子どもの自覚や自己有用感の醸成に活かす。														
公共心と社会参画					①各分野における学習内容を、実社会や実生活と関連付けることで、生徒の身近な出来事や社会問題への関心を高める。②キャリア教育(職業講話・職場体験学習・進路学習)などを通して、生徒が社会的・職業的自立に向けて、自分の役割と責任を自覚し、行動する力を醸成する。														
学校安全					①学校内の施設設備・器具の点検を行うことで危険箇所の抽出をし、施設面の配慮をし、安全の指導を徹底することで校内事故防止に努める。②危機管理・アレルギー対応などの職員研修を実施し、行動及び確認体制の強化を図る。③よりよい教育環境を通じ安心安全快適な学校を目指す。														
いじめへの対応					①定期的実施する教育相談や月1回実施する生活アンケートを活用し、生徒一人ひとりの細やかな変化を見逃さない体制をつくり、いじめの早期発見・早期対応に努める。②初期対応を丁寧に行う。③定期的にいじめ防止対策委員会を開催し、事案の経過確認を行い、再発防止に努める。														
人材育成・組織運営(働き方改革)					①授業を学び合い、授業力向上に向けた意見交換が活発にできる、風通しのよい職場環境を築いていく②研修参加や適時性のある情報の提供など、職員が自ら広く学ぶ機会を設ける。③ICTを活用した業務効率化と全職員参加での業務スリム化検討とを図る。④「報告・連絡・相談」体制が確立した全教職員参加型の組織運営を行う。														
担当					管理職・主幹教諭														

## 学校配当予算 平成30年度決算・令和元年度予算

平成30年度の学校配当予算の決算と今年度の学校配当予算は次のとおりです。今年度予算は、前年度と比較して一見減額されているように見えますが、前年度は年度途中で委託料への追加配当があったため、ほぼ同額の配当となっています。過年度に引き続き、黒板などの修理や校内環境の再整備に取り組んで行く予定です。また、ICT環境を充実させるために予算を多くとっています。限られた予算の中ではありますが、より充実した教育環境を整備することを目指して、計画的な予算の執行と節約に努めていきます。

### 平成30年度学校配当予算決算報告書兼 令和元年度学校配当予算執行計画書

#### 1. 学校運営振興費

横浜市立高田中学校

費目	平成30年度決算		令和元年度執行計画		主な執行内容
	配当予算額	決算額	配当予算額	執行予定額	
報償費	280,000	5,000	280,000	5,000	他費目へ流用
消耗品費	7,092,000	6,914,060	7,092,000	7,092,000	各教科教材、各種用紙類、事務用品、印刷関連用品、管理用消耗品 他
食糧費	50,000	44,820	50,000	50,000	行事実費用弁当・菓子代 他
印刷製本費	122,000	35,532	122,000	122,000	封筒印刷 他
修繕料	124,000	309,232	124,000	124,000	教材教具修理、事務機器修理 楽器修理 他
通信運搬費	121,000	44,200	121,000	80,000	切手代
手数料	60,000	135,828	100,000	60,000	図書装備、クリーニング、ピアノ調律 他
委託料	266,600	255,420	137,000	137,000	学校契約処理廃棄物
使用料及び賃借料	656,700	996,824	621,700	945,800	自然教室生徒輸送費、卒業行事関係施設入場料、モップ使用料 校務用ソフトライセンス代 他
学用器具費	2,210,000	1,539,270	2,170,000	1,500,000	各教科教材、事務機器、部活動用備品、視聴覚機材 他
図書費	932,000	862,768	932,000	932,000	生徒図書室用図書(図書室環境整備のため消耗品等へ流用)
負担金補助及び交付金	24,000	3,400	24,000	3,400	各種団体への登録料
施設小破修繕	800,300	1,106,784	800,060	1,100,900	黒板張替修繕、ICT環境改修、雨漏り修繕 他
施設小破修繕(手数料)	30,000	376,920	30,240	430,000	部品交換を伴わない修繕、エアコンクリーニング等
校地小破修繕	64,500	203,040	64,500	86,400	校庭及び校庭関連施設修繕
計	12,833,100	12,833,098	12,668,500	12,668,500	(総額裁量性予算のため費目予定額を超過して運用できます)

#### 2. 学校管理費

費目	平成30年度決算		令和元年度執行計画		主な執行内容
	配当予算額	決算額	配当予算額	執行予定額	
報償費	200,000	167,000	200,000	200,000	学校巡回員などへの報酬
燃料費	27,000	26,967	27,000	27,000	式典等の灯油など暖房用(本校は都市ガス使用のため)
計	227,000	193,967	227,000	227,000	

#### 3. 特別配当

費目	平成30年度決算		令和元年度執行計画		主な執行内容
	配当予算額	決算額	配当予算額	執行予定額	
タブレット端末整備	400,000	399,999	400,000	400,000	タブレット端末(iPad)の購入費用
計	400,000	399,999	400,000	400,000	